

学校通信

陽光



多可町立八千代中学校

令和5年3月1日（水）発行

<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>

電話 37-0049

文責：校長 神崎



「 名人から学ぶ・・・ 」

学校長 神崎進吾



2月3日（金）、1年生が姫路で校外学習を行いました。そのメインプログラムの一つであったのが「明珍本舗」の訪問でした。「明珍本舗」は、兵庫県が誇る伝統工芸品である「明珍火箸」の工房です。その伝統技術を受け継ぐ名人の姿は、兵庫県版の道德資料集「心かがやく」にも取り上げられており、生徒たちも道德の授業で学習しています。

今回の訪問は、キャリア教育の一環として、伝統工芸に携わる名人の姿から学ぼうと企画したものです。「明

珍本舗」さんは、これまで学生を受け入れた経験はなかったそうなのですが、この度、1年生学年団教員の熱意に押される形で、受け入れてくださいました。

工房は姫路城から車で5分の旧城下町にあり、想像していた以上にこじんまりした佇まいで、作業場も1年生の生徒が入るといっぱいになる広さでした。受け入れてくださったのは、明珍宗敬さん（13代目の当主）をはじめとする「明珍本舗」の従業員の皆さんです。我々が作業場に入るとすでに窯には火が入れられており、すぐに鉄が打てる状態にしてくださっていました。材料である鉄の棒が、明珍さんの手にかかれば、瞬く間に火箸に変わっていきます。真っ赤に焼けた鉄の棒が、火箸の形に変わるまでわずか1分強。匠の技を目の当たりにして、生徒たちは感嘆の声をあげるとともに、食い入るようにその技に見入っていました。

その後、2つのグループに分かれて、一人ずつ火箸づくりにも挑戦させてもらいました。鉄を打つのはやはり難しく、でこぼこになったり、打った反対方向に反り返ったりと、なかなか思うような形になりません。改めて匠の技の凄さがわかりました。

最後に明珍さんからは、「私がこの明珍火箸を作り始めてから、納得のできる火箸を作ることかできるようになるまで10年かかりました。その間、毎日、失敗しても何度も何度も納得できる火箸ができるまで繰り返し作り続けました。失敗は成功のもと。失敗した原因を考え、どうしたら上手くいくかを追求し、納得できるまで何度も何度も挑戦し続けました。みんなも、何事にも失敗を恐れず挑戦し続けてほしい。」とのお話がありました。

私も最初に、明珍さんと名刺交換をさせていただいたのですが、やはり鉄を打ち続けてこられたその手は、職人ならではの厚みのある私がこれまで見たことのないような手でした。口数も少なく穏やかな物腰でゆったりとお話される方でしたが、その手は、明珍さんのこれまでの修練がいかにほどであったかを雄弁に物語っていました。

最後に、明珍さんからいただいたお手紙を紹介します。

「こんにちは。

先日の鍛冶体験は、初めての挑戦でしたね。熱い炉の前で重たい金鋤を振り、それぞれの火箸を頑張って作りましたね。

メッセージを写真入りの寄せ書きで受け取りましたよ。ありがとう。

今回、「鍛冶体験をしてみよう」と伝えた時、最初は、戸惑いましたね。何事でも最初に一步踏み出すことは、とても勇気のいる行動です。その後、素直に体験すると自然に笑顔や笑いも出てきましたね。コークスの炎と焼けた鉄に少し驚き、思うような火箸に延びなくても、心は弾み楽しかったですね。

積極的に挑戦することは、大人になっても大切な心構えです。

今しかできない中学生の時間を勉強や部活活動、たくさんの行事に取り組み、積極的に挑戦して、努力を続ける力を身に付けられるように応援しています。

令和5年2月15日 明珍宗敬 〳

ご多用の中、受け入れてくださった「明珍本舗」の皆さんに感謝するとともに、改めて、明珍さんの言葉を胸に刻み、今後の生き方にも活かして行きたいと思います。

2月の教育活動

< 1年生、校外学習（姫路） >

① 明珍本舗見学

2月3日（金）、1年生が姫路で校外学習を行いました。今回の校外学習のテーマは「学成楽～学びを通して成長し、楽しもう～」です。最初に訪問したのは「明珍本舗」。道徳で学習した兵庫県が誇る伝統工芸品である「明珍火箸」の工房を実際に見学しました。（詳細は巻頭言参照）



② 姫路城見学

続いては、世界遺産の姫路城の見学です。ガイドさんの案内の下、班ごとに分かれて城内を見学しました。美しい天守閣で有名な姫路城ですが、その城内は敵から城を守るための、様々なしかけがたくさんあります。一つ一つ丁寧に紹介していただきました。また、その大黒柱は、八千代区の笠形山から切り出した木材と木曾から切り出した木材を接木して、一本の柱にしています。間近にその柱の接合部を見ることも出来ました。歴史的建造物から匠の技術について見る事ができました。



③ 姫路城下町、班別自主研修

最後は、姫路の城下町での班別自主研修です。計画や体験行動を通じて、自主・自律的な生活に必要な社会性を身に付けます。生徒達は、事前に自分たちで計画したコースに基づき、班ごとに城下町を散策し、存分に楽しみました。たくさんの学びと思い出を持ち帰りました。



< 1年生ふるさとキャリア教育～地域商社RAKU～

2月10日（金）、6校時に1年生がトライやるウィークの事前学習として、ふるさとキャリア教育の授業を受けました。株式会社多可町地域商社RAKU 代表取締役である寺川敏博さんと社員の西岡里紗さんにお越しいただき、お話を聴きました。寺川さんは、愛媛県の四国中央市から、多可町に移住していられています。スローライフを送りたい（都会であくせく生きるのではなく、人生をゆったり楽しもう）、そして、田舎で起業したい（会社を創りたい）という想いでやってこられたそうです。特産品や古民家再生、多可町ファンクラブ等、多可町の魅力をHPやSNSを活用してPRし、多可町の活性化に尽力されている様子を紹介していただきました。「その時その時、自分の目標に向けて頑張る大切さ」「色んな角度から物事を見る大切さ」「小さなことへの感謝」など様々なメッセージが生徒たちに届けられました。寺川さんと西岡さんから想いや夢を持って、仕事に打ちこまれている姿からたくさんの学びがありました。貴重な機会をつくっていただき、ありがとうございました。



◎入試に向けて、学力向上！

2月は、受験シーズンの真っ只中です。例年2月中旬には、県内の私立高校入試、兵庫県立高校の特色選抜入試、推薦入試、多部制Ⅰ期入試が実施されます。3年生がこの時期にみせる集中力は素晴らしいものがあり、次々と合格を勝ちとっています。やはり、「努力無くして栄光無し」ですね。

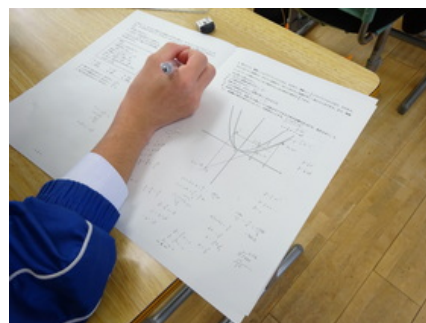
< 3年生県内私立高校入試、1・2年生実力テスト >

2月10日（金）、3年生が兵庫県内の私立高校入試に臨みました。多くの生徒にとって初めての受験です。早朝より緊張した面持ちで会場に向かいました。これまでやってきたことを信じて、精一杯自分の持てる力を出し切ってくれたと思います。年が明けてから、授業でも、わからないところを先生や友達に尋ねる者、お互いに教えあいをする者、黙々と集中して問題演習に取り組む者と、やり方は人それぞれですが、一つ一つの授業からその真実さが伝わってきます。1・2年生も、この実力テストに向けて計画的に試験勉強に打ちこんできました。2年生は1年後、1年生は2年後には入試を迎えます。日々の積み上げが全てです。コツコツやっていきましょう。目標に向かって、頑張れ、八中生！！



< 3年生、入試に向けて問題演習！ >

2月に入り、3年生は授業で総復習に取り組む教科が増えてきました。入試の過去問題や予想問題を解き、力試しをするのと同時に苦手分野を克服していきます。どの授業も真剣そのものの表情で問題に取り組んでいました。数学や理科は、入試問題ともなると一見難しそうに見えますが、これまで学んだ基本を組み合わせることで解くことができる問題が大半です。慌てることなく落ち着いて取り組みましょう。今がみんな一番しんどい時期です。もうひと頑張りですよ。



< 3年生、推薦入試等の面接練習 >

1月から、3年生は公立高校の特色選抜入試、推薦入試、多部制Ⅰ期入試に向けて、放課後に、面接練習や小論文練習に取り組んできました。面接練習でもしっかりと受け答えをす



る生徒も多く頼もしい限りです。しっかりと準備をし、自信を持って試験に臨むことができました。

＜がんばりタイム＞

2月に入り、放課後にがんばりタイムに参加する生徒が増えました。3年生だけでなく、1年生、2年生それぞれ自分の課題に取り組んでいます。自分のわからないところ、弱いところをそのままにせず、先生に教えてもらいながら、しっかりと復習する習慣を身につけておきましょう。

＜学習相談を実施しました！＞

2月21日（火）、6校時に学習相談を実施しました。今年度から取り組んでいるこの取組、生徒たちも随分と慣れてきたようで、概ね好評です。事前に各教科の自分の解決したい課題をクロームブックを使って提出しておき、この学習相談の時間には、各教科のブースを訪れて先生に教えてもらいます。待っている間は、定期テストに向けて自習を行います。各教科のブース訪れた生徒たちが活発に先生方に質問し、自分の課題を解決しようと頑張っていました。また、自習教室では、集中して静かに自主学習に取り組んでいました。定期テストまでの限られた時間を有効に使って、復習に励んでいます。



＜第4回定期テスト＞

2月24日（金）、第4回定期テストが始まりました。今年度最後の定期テストです。今回の定期テストは1年間の総まとめの意味があります。この1年間でどれだけ力がついたかを確認するテストです。今の自分の課題を洗い出し、春休みにかけて復習をしていきましょう。また、今回の定期テストに向けて、部活動も4日前から停止し、祝日や土日も上手に活用して計画的にテスト勉強に取り組むよう指導しています。テスト勉強を通して、上手にタイムマネジメントを行い、計画的かつ効率的にテスト勉強に取り組むことを学んでほしいと思います。



＜卒業式用のコサージュが届きました！＞

2月22日（水）、卒業生用のコサージュが届きました。多可町の伝統工芸品である杉原紙を用いたもので、杉原紙愛好会の方に作成していただいています。多可町で今日でも昔ながらの技術技法ですかれている手すき和紙「杉原紙」の歴史は古く、7世紀後半と推定されており、杉原紙の前身である「播磨紙」は奈良時代、日本一といわれていました。当時は、祝儀贈答の品物として珍重され、奈良時代は写経用、鎌倉時代は幕府の公用紙に用いられました。室町時代の中ごろからは一般にも使われるようになり、証書や手紙などの大切な紙として愛用され、江戸時代には浮世絵・版画にも用いられていました。大正末にいったん途絶えましたが、昭和45年に昔ながらの技術技法が再現され、今日では書道用和紙やカラフルな民芸紙類をすいており、多くの愛好家の間で好評を博しています。多可町の中学校を卒業する生徒には、是非ともこの伝統ある杉原紙の素晴らしさを胸に巣立ってほしいとの願いを込められています。鮮やかな真紅と和紙とは思えぬ精緻なつくりが際立つこのコサージュ。卒業式では、きっと卒業生の胸元に華やかなアクセントを加えてくれることでしょう。杉原紙愛好会の皆さん、素晴らしいコサージュをありがとうございます。



「陽光2月号 返信欄」から

いつも多くのご意見やご感想をいただきありがとうございます。皆様のご意見やご感想の交流の場とし、また、今後の指導にいかしていきたいと思っておりますので、是非、ご返信お願いいたします。また、たくさん返信をいただいておりますが、最近、「掲載不可」とされている方が多く、少しさみしい想いをしています。可能であれば、「掲載可」もしくは「どちらでも」にさせていただけるとありがたいです・・・。

【1年生】

- ・残りわずかで2年生になるので、一日一日を大切に今出来ることをしっかりやってほしいと思います。資源ゴミ回収では、本当に寒い中テキパキ動いている子どもたちを見て、すごいと思いました。

【2年生】

- ・見ました。いつもありがとうございます。
- ・新生徒会役員も決まり、3年生から2年生へバトンタッチされたのですね。八中生徒みなさんで協力して1年間大変ですけど頑張ってください。3年生のみなさんもあともう少しで卒業されますね。色々教えてください、ありがとうございました。

【3年生】

- ・中学校生活も残りわずかです。体調に気をつけて、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。
- ・卒業まであと少しになりました。満足に行事が行えないなか、様々なことにチャレンジする姿に感心しました。友人や先生方に恵まれ、たくさんの経験ができたと思います。周りの人達に感謝しながら、残り少ない中学校生活を大切に過ごしてほしいです。
- ・長いようであっという間の3年間が残り僅かだと思うと淋しい思いです。希望の進路に進めるよう応援しています。

キ リ ト リ 線

《第13号（3月）返信欄》

年 組 番 氏名 () の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)